

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
57	東京純心大学	看護とコミュニケーション	天野 雅美 看護学部 教授	1	後期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. コミュニケーションの目的を想起できる。
2. 接近的コミュニケーションの原理を説明できる。
3. 効果的なコミュニケーションの技術を説明できる。
4. コミュニケーション障害がある人への対応を考えることができる。
5. ロールプレイングにより自己の特徴を述べることができる。

【授業の概要】

本科目は、コミュニケーション論や基本援助技術で学修した基本的知識に基づき、看護実践に必要なコミュニケーションの理論と方法について学ぶ。また、特に、対象－看護者関係に焦点を当て、信頼関係を構築するための基本的な内容を学び、さらに援助的コミュニケーションについて学修する。看護者が用いる質問の方法や誠実な対応、共感的理解に焦点を当て、沈黙の意味やコミュニケーションの時間帯などを学ぶ。看護者に求められるコミュニケーションは、相互作用であること、挨拶や身だしなみなどの基本的態度が求められること、コミュニケーションの成立から関係性の構築が必要であること、コミュニケーションに障害を持つ患者には様々な状態があり、それらの障がいに応じてコミュニケーションの対応の特徴があること、などを含めて一連の内容がコミュニケーションスキルに繋がることを学修する。ロールプレイングを実施し、その体験を逐語録にして、自分のコミュニケーションの過程を振り返り、よりよいコミュニケーションを考える。

【授業内容】

1. 【ガイダンス】
 - (1). コミュニケーションの目的の想起
 - ①看護や医療におけるコミュニケーションの目的・特徴
 - ②対人関係プロセスとしての看護
 - (2). ロールプレイング
 2. (1). 看護におけるケアリングとコミュニケーション
 - ①ケアリングの概念と今日的意味
 - (2). ロールプレイング
 3. (1). 関係構築のためのコミュニケーション_①
 - ①接近的コミュニケーションの原理
 - ②接近的行動の前提となる基本的な態度
 - ③接近的行動と非接近的行動
 - ④接近的コミュニケーションの成立
 - (2). ロールプレイング
 4. (1). 関係構築のためのコミュニケーション_②
 - ①接近的コミュニケーションの原理
 - ②接近的行動の前提となる基本的な態度
 - ③接近的行動と非接近的行動
 - ④接近的コミュニケーションの成立
 - (2). ロールプレイング
 5. (1). 効果的なコミュニケーションの実際_①
 - ①傾聴
 - ②情報収集
 - ③説明
 - ④アサーティブネス
 - (2). ロールプレイング
 6. (1). 効果的なコミュニケーションの実際_②
 - ①傾聴
 - ②情報収集
 - ③説明
 - ④アサーティブネス
 - (2). ロールプレイング
 7. (1). コミュニケーション障がいがある人への対応_①
 - ①コミュニケーションに障がいのある人の特徴
 - ②言語的コミュニケーションに必要な身体機能
 - ③コミュニケーション障がいがある人への対応
 - (2). ロールプレイング
 8. (1). コミュニケーション障がいがある人への対応_②
 - ①コミュニケーションに障がいのある人の特徴
 - ②言語的コミュニケーションに必要な身体機能
 - ③コミュニケーション障がいがある人への対応
 - (2). ロールプレイング
 - (3). まとめ
- 授業評価アンケート

【成績評価方法】

課題レポートや毎回の課題とロールプレイングの取り組み：100%（提示された課題に折り組んでいない場合、減点対象となる。課題の取り組み内容が6割に満たない場合は、再提出を課す。）

【教科書】

1. 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I, 医学書院, 2023. (1年前期に購入済み)
2. 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [1] 基礎看護学概論, 医学書院, 2023. (1年前期に購入済み)

【参考書、教材等】

1. 宮脇美保子編：新体系看護学全書 基礎看護学[1] 看護学概論，メヂカルフレンド社.
2. 松木光子編著：看護学概論，ヌーベルヒロカワ.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。